

足の爪切りは 患者さんの 人生を変える



【爪切り技術を教えてくれる人】

伊部美代子さん

「天使のつめきり」メディカルフットケア代表



足の爪の障害は、人の生活に甚大な影響を与えます。爪が肥厚して靴が履けない、痛くて歩けないとなれば、それによって血流が悪くなる、身体機能が落ちるといった身体面への影響が出ます。あるいは靴を履いていくことが求められる場所へ出かけられなくなり、人と交流ができないといった社会面にも影響が出ます。

現在、自分では爪が切れずに困っている患者さんはかなりの数にのぼります。しかしそこに応えられる爪切りの看護技術が普及していない状況です。それは精神科でも同じです。いや、高齢化が進み、身体合併症が増加中の精神科でこそ、足の爪へのケアニーズは高いと言えるのではないのでしょうか。

そこでこの特集では、爪を切る技術を磨いてゾンデ1本で開業を果たした看護師、伊部美代子さんに登場いただきます。その見事な技術で激変する爪ビフォーアフターと、患者さんの人生の変化をごらんください。

撮影協力：介護老人保健施設コスモス、撮影：安部俊太郎